

かわさきし 川崎市からののお知らせ

子どもと一緒に通学路を歩いてください！

御入学、おめでとうございます。

子ども達は、これから始まる小学校生活に、期待で胸を膨らませていることとおもいます。

一方、保護者の立場からすれば、今まで一緒に歩いていた子ども達が急に一人で登下校することになると、事故や犯罪に巻き込まれるのではないかとといった心配もあるのではないのでしょうか。

通学路は、交通安全上や防犯上の観点を考慮し、子ども達が安全に登下校できるよう設定したルートですが、子ども専用道路ではありませんので、事故や事件などに巻き込まれる可能性もあります。

そこで、子ども達の安全を確保するため、入学までの間に保護者の皆様が子どもと一緒に、何度も通学路を歩いて確認し、注意すべき場所やその時の正しい行動など、具体的に指導していただきますようお願いいたします。

交通安全指導のポイント

◎ 子どもと一緒に歩いて通学路の危ない場所をチェックしましょう

子ども達は、単に「危ない」や「注意しなさい」という言葉では、その危険性を十分に理解できません。「何が」危ないのか、「なぜ」危ないのかを具体的に指導しましょう。

<例>

- ・駐車場の出入り口では、道路や駐車場から車が来て歩道を横切るから、車の出入りに注意しよう。
- ・大通りは、車や自転車がたくさん走っているから、左右をよく見てから道路を渡ろう。

◎ 「飛び出し」や「はみ出し」はとても危ないことを、伝えましょう

神奈川県内では、令和元年から令和5年までの過去5年間で、小学生の歩行中の交通事故原因の半分以上が「飛び出し」によるものでした。

子ども達は、一つのことに気が向くと、周囲への注意が散漫になります。友達を見かけても、急に道路に飛び出したりしないように、日頃から「止まってしっかり確認」を習慣づけるよう指導しましょう。

<例>

- ・道路の反対側に友達がいるからと「急」に横断すると、車にぶつかるよ。
- ・前の友達を追い越すために「急」に車道にはみ出すと、車にぶつかるよ。

◎ 保護者が手本となり交通ルールを教えましょう

まずは、保護者が手本を示し交通ルールを守りましょう。車が来ないからと大人が信号を無視したり、横断歩道のないところを横断したりしている姿を子ども達はしっかりと見ています。まずは、保護者の方が交通ルールを守り、子どもに交通ルールを教えましょう。

<例>

- ・前をよく見て歩かないと危ないよ。
- ・皆と並んで歩くとほかの人が通りづらいよ。
- ・道路を渡る時は横断歩道を使おうね、信号は守ろうね。

◎ 子どもの視野は狭いので、左右の安全をしっかりと確認するよう伝えましょう

大人からは左右を確認できても、子どもの目線では十分に見えないことがあります。子どもには、顔を振り、周囲の安全確認をしっかりと行うよう指導しましょう。

川崎市が配布する
ランドセルカバー
(反射材を使用し、
視認性に優れます)

こうつうあんぜん



かわさきしごくん



交通安全パートナー

地域で守ろうこどもの安全 交通安全パートナー

子どもと確認!

- ★まず、止まる
- ★左右をよく見る
- ★無理して渡らず待つ

～交通安全は家庭から～

(川崎市交通安全母の会連合会スローガン)

ぼうはんしどうじょう ぼいんと 防犯指導上のポイント

☆お子さんと一緒に
「子どもの目線」で確認することが大切です!

◎ できる限り一人で帰らないようにしましょう

不審者が狙うのは、「一人にいる子ども」、タイミングは「友達と別れた後」がほとんどです。なるべく帰宅方向が同じ友達と一緒に帰るようにし、自宅到着までの間に一人になってしまうタイミングがある場合は、必ず「知らない人に声をかけられてもついていけない」など、具体的な対処法を教えてください。

◎ 通学路を通して帰りましょう

通学路は、人の目が行き届きやすく、万が一何かがあっても「誰かが見てくれていたり助けてくれたりする可能性が高い」道路でもあります。たとえ自宅までの最短経路でなくても、通学路を通して帰るように指導してください。

◎ 防犯ブザーを確認しましょう

万が一、何かの被害に遭いそうになったとき、大声を出せなかったケースもよくありますので、防犯ブザーを活用しましょう。

防犯ブザーは、大音量で周囲に異常を知らせたりするだけでなく、持っていることで被害の対象になりにくくなる効果も期待できます。いざという時の鳴らし方を指導してください。

◎ お子さんと一緒に危険な箇所をチェックしましょう

大人では気付かない物陰などの死角もあります。

防犯訓練の約束

いかのおすし

知らない人についていけない
知らない人の車にのらない
おおきなこえをだす
すぐにげる
おとなに知らせる

目印のステッカー

通学経路上のどこにあるか、
事前に確認しておきましょう!



©藤子プロ

きけんかいひ ぼいんと 危険回避のポイント

◎ 大声や防犯ブザーで周囲に知らせましょう

不審者が嫌うのは、「誰かに見られること」です。大きな声や音は、第三者の目を引き付ける効果があります。

◎ 「こども110番」の家などに駆け込みましょう

右のステッカーを掲出している家や商店などは、不審者に声を掛けられたり、ケガをしてみたりしたときなどに、子どもたちを安全に保護し、関係機関に連絡してくれます。

◎ 事件・不審者情報をアプリで配信中!!

川崎市では、市内の声かけ、不審者、痴漢などの情報をプッシュ通知でお届けする防犯アプリ「みんなパト」を配信しています。ダウンロードは、右のQRコードから!

※ QRコードが読み取れない場合は、「Google Play」又は「App Store」から「みんなパト」で検索してください。



こちら

参照ください

(神奈川県警察HP)

☆ 交通安全関係 (トップページ⇒交通安全⇒交通事故防止:子供の事故防止)
https://www.police.pref.kanagawa.jp/kotsu/jiko_boshi/kodomo/mesf0208.html

☆ 防犯関係 (トップページ⇒暮らしの安全情報⇒子どもや女性を守るために ほか)
https://www.police.pref.kanagawa.jp/kurashi/kodomo_jyosei/list/

【発行】

川崎市・川崎市交通安全母の会連合会 (川崎市市民文化局地域安全推進課内)

【問合せ先】

川崎市市民文化局地域安全推進課 交通安全に関すること ☎ 044-200-2266

防犯に関すること ☎ 044-200-2284

川崎市子ども未来局青少年支援室 「こども110番」に関すること ☎ 044-200-2669